

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス ナーチャーハーツ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日 ～ 2025年 3月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	36
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	長期休みにお出掛けイベントやクッキングをしている。 高学年から自社の就労支援A型のお仕事体験をしている。 できるだけ内容が被らないように工夫している。	子ども達が行ったことのないお出掛け先も検討していく。
2	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	集団での学びや、コミュニケーションがうまくとれるように声かけや見守りをしている。	子ども同士での関わりが増えるようにしていく。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	子どもの生活空間は毎朝掃除を行い、環境を整えている。	今後も継続して快適かつ安全な空間になるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	交流の場の設定が難しい（場所、時間等）	地域の情報をつかみ、参加できそうなイベントを検討していく。
2	きょうだい向けのイベントの開催等、きょうだい同士の交流の機会や支援ができていない。	利用者のきょうだいに参加するイベントが少ない。	長期休みや祝日で保護者やきょうだいに参加できるイベントを検討していく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後デイサービスナーチャーハーツ		2025年 4月 23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・ 子どもの生活空間は、毎朝掃除を行い、環境を整えている。 ・ 毎朝当番制で清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・ クールダウンが必要な時、着替え、体調不良などに個別の部屋を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ 保護者の意見を参考にし、業務改善につなげている。 ・ 頂いた意見を参考に、業務改善の見直しなどを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ 職員の意見を把握し、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・ 第三者による外部評価は、現在行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・ 外部・内部研修ともに積極的に参加している。 ・ 市内で開催されている研修や職場内での研修に定期的に参加している。 ・ 内部研修では月に1回担当を決めて実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ HPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・ 6ヶ月に1回アセスメントを行い、支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・ 職員が共通理解し、検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・ 共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・ 職員で話し合って計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・ 1週間ごとにSSTの内容を変えて取り組んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別支援が必要な子どもに対しての配慮を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎朝の朝礼で細かく打ち合わせをしている。 ・毎朝、朝礼で打ち合わせをし、職員間での共有と確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・翌日の朝礼で行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年に1回モニタリングを行っている。 ・全利用児童の保護者と必ず6ヶ月に1回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・おやつを自分で選んで食べたり、製作する際に色や素材を選んだりしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・保護者を通じて学校と連携をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・情報を共有するため、当事業所に訪問いただき、利用児童にとっての良い支援について助言・相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・依頼された場合、情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・今後、検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳や送迎時にその日の様子を伝えている。必要であれば電話連絡を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明している。また質問等があった際にも説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・保護者会を開催している。 ・今年度は保護者会を2日間実施した。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月1回、手書きの通信を発行している。 ・月1回、HPを更新している。 ・ナチャル通信の配布、HP掲載、LINEや電話での確認を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・研修と訓練を行っている。 ・非常食や防災グッズの見直しも行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時に、アレルギーの有無について保護者から聞き、アレルギーがある場合は詳細を聞いている。 ・クッキングを行う際に、事前に食物アレルギーの有無について確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・年間の行事予定で避難訓練や研修を計画している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・アクシデント、ヒヤリハットがあればすぐ共有し、事案が起きた際には記録を残している。 ・毎日の朝礼時、前日にヒヤリハットがなかったか振り返っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・毎年研修を行っている。外部の研修にも積極的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		